

第6回 再チャレンジプログラム

令和4年3月24日

令和3年度秋～冬学期期末試験 民事訴訟法応用2

設問(1)

第1 遺産確認訴訟の性質

第2 原告適格

1 問題点

※なぜ原告適格が阻却されると考える余地があるのか

2 判例（最判 H9. 3. 14※訴訟要件について述べている方）

第3 確認の利益

1 対象選択の適切性

(1) 前提

(2) 検討（最判 H1. 3. 28）

2 方法選択の適切性

(1) 問題点

(2) 検討（最判 S61. 3. 13）

3 即時確定の利益

(1) 定義等

(2) 本問の検討

設問(2)

第1 追加申立ての分析、解釈

1 請求1について

2 請求2について

3 両者の関係

第2 交換的変更についての検討

1 交換的変更の訴訟手続き

2 訴訟の進行状況

3 可否

第3 追加的変更についての検討

第4 おまけ（その後の審理）

設問3

第1 問題点

第2 既判力の範囲

第3 請求3への作用

令和2年度司法試験 刑事訴訟法

設問1

第1 検討事項

第2 強制処分該当性

1 強制処分（197条1項但し書き）の定義

2 主な学説

3 類似判例（出題趣旨で言及されているもの）

4 本問における検討

(1) 行為の特定

(2) 被侵害権利・利益及び制約の程度

(3) 本人の意思

(4) 結論

第3 任意捜査としての相当

1 判断枠組み

2 本問における検討

設問2

小問1

第1 自白法則

第2 違法収集証拠排除法則との関係

小問2

第1 319条1項の趣旨

第2 任意性の有無

第3 違法収集証拠排除法則

1 違法収集証拠排除法則の根拠と判断基準

2 本問での適用

設問3

第1 弁護人意見の趣旨

第2 他事件の立証の可否

第3 手口の類似性

以上